



無料カウンター

相続税・5億脱税容疑：和歌山県議を逮捕！

2015.12.08.

Last update : 01/11/2016
12:47:35

非課税となる相続税法の規定を悪用！

和歌山県の社会福祉法人への寄付を装い、不動産管理業者らと共謀し相続税約4億9500万円を脱税したとして、大阪地検特捜部は12月7日、相続税法違反と偽造有印私文書行使の疑いで、和歌山県議の花田健吉容疑者（57）＝同県印南町＝を逮捕した。

資産家の遺産相続をめぐる約5億円の脱税容疑事件で、相続人や税理士らグループ7人による脱税工作に加担したとして、和歌山県議（自民）の花田健吉容疑者（57）＝同県印南町＝を相続税法違反と偽造有印私文書行使の容疑で逮捕。

7人は、相続人の不動産管理業・高木孝治容疑者（73）＝大阪府東大阪市▽税理士・岩上順容疑者（63）＝大阪市北区▽会社経営・帖佐（ちょうさ）勝也容疑者（37）＝同▽会社役員・藤田浩二容疑者（41）＝大阪市東成区▽会社員・榎森（えもり）広高容疑者（48）＝堺市南区▽会社員・谷口充弘容疑者（52）＝大阪市浪速区▽落語家・西裏（にしうら）文雄容疑者（64）＝芸名・桂小軽（おかる）、東大阪市。関係者によると、知人の紹介などで互いに接点があり、金銭的利益を得ようとしたとみられる。

逮捕容疑は昨年9月、相続人の不動産管理業高木孝治容疑者（73）ら男7人と共謀。偽造された遺言書を添付し、高木容疑者が2013年に亡くなった実兄＝当時（76）＝から相続した約10億5千万円相当の遺産のうち、約8億5千万円を和歌山県の社会福祉法人「敬愛会」に寄付したとする書類を税務署に提出、高木容疑者の相続税を脱税した疑い。

社会福祉法人の関係者によると、花田容疑者は昨年8月ごろに複数の法人理事を訪問。「寄付」の申し出があると伝え、受け入れを認める署

名を理事らから集めたという。さらに翌9月、共犯とされる会社員の榎森（えもり）広高容疑者（48）＝堺市南区＝とともに法人理事に就任した。

・

だが、遺産は法人に渡らず、榎森容疑者が法人名義の別口座を勝手に作るなどしたため、法人理事会は今年1月、「寄付」の受け入れを取り下げると決定。榎森、花田両容疑者は5月までに理事を辞めたという。

・